

## 期待する卒業生像

1. 人々に礼節を持って接し、道徳心に基づくマナーを身につけた看護専門職を目指す。
2. 人間が普遍性かつ個別性をもつ存在であることを理解している。
3. 人々がどのような環境の中に在っても健康を維持できるよう支援できる。
4. 科学的根拠に基づき個別性を踏まえ統合された技術をもって看護を安全に提供できる。
5. 地域の看護活動へ参加し、多職種と協働することで調整能力を身につけ、人々のセルフケア能力を支援する技術を発展させる。
6. 社会の動向や世界のあらゆる健康問題に関心を持って自己研鑽できる。

### (単位の認定及び成績の評価)

- 第21条 単位は、成績の評価に合格した者に対し、所定の手続を経て学校長が認定する。
- 2 成績の評価は、試験または実習評価に基づき行う。
  - 3 評価の時期は、科目終了時とする。
  - 4 評価は、優、良、可、不可で表し、優・良・可を合格とする。
  - 5 単位の認定及び成績の評価に関し必要なことは履修規程に定める。

### (卒業の認定)

- 第25条 学校長は、第21条に定める授業科目の単位の認定を受けた者について、教育会議の議を経て卒業を認定する。